

「第60回ギャラクシー賞」

琉球放送の作品がラジオ部門 大賞受賞！

RBCi ラジオスペシャル「ダニー・ボーイ～齋藤梯子、ジャズと生きる～」



第60回ギャラクシー賞贈賞式(主催:放送批評懇談会)

日本の放送文化の質的な向上を目的に優秀な番組に送る「第60回ギャラクシー賞(主催:放送批評懇談会)」の贈賞式が5月31日に開催され、琉球放送株式会社(代表:中村一彦)では「RBCi ラジオスペシャル ダニー・ボーイ～齋藤梯子、ジャズと生きる～」がラジオ部門大賞、「ウムいつむぐ ～着物が語る“やんばるの戦”～」がテレビ部門選奨を受賞しました。大賞の受賞は琉球放送初の快挙です。

第60回ギャラクシー賞 受賞作品について

●ラジオ部門 大賞

「RBCi ラジオスペシャル ダニー・ボーイ～齋藤梯子、ジャズと生きる～」(2022年12月放送)

【番組内容】

齋藤梯子(さいとう・ていこ)さんは、87歳の現役ジャズシンガー。本土復帰前の沖縄で毎晩米軍基地のステージに立ち、その歌声で兵士たちを癒し続けました。梯子さんは86歳で初のCDを発売し、リリースツアーを開催。会場に一番乗りで現れたのは、基地反対の思いから今まで一度もステージを見に来ることがなかった梯子さんの兄・修さんでした。名曲「ダニーボーイ」に込めた思いを語る梯子さんの言葉に、修さんは…。

<ディレクター 狩俣倫太郎>

RBCi ラジオでは、番組を6月10日(土)18:00に再放送します。ぜひお聴きください。

●テレビ部門 選奨

慰霊の日特番「ウムイツむぐ～着物が語る“やんばるの戦”～」

【番組内容】

「沖縄戦当時、米と交換した着物を持ち主に返したいー。」77年前、本島中部の読谷村から北部・やんばるの国頭村に避難した家族が、食糧難で米と引き換えに手放した着物。国頭村に住む大田吉子さんは、いつか持ち主に返したいと、その着物を大切に保管してきました。持ち主の情報は「読谷村から避難してきた」ということだけ。この着物に刻まれた“やんばるの戦”とは何だったのか、持ち主は現れるのか。着物に込められた思いから平和を見つめなおします。

<制作スタッフ>

ディレクター 飯島将太(報道制作部)

撮影・編集 大嵩匠(RBCビジョン)

語り 玉城千春(Kiroro)

番組はYouTube「RBCチャンネル」にて無料公開中！ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=QcVwbMNaQYc>

ギャラクシー賞について

「放送に関する批評活動を通じて、放送文化の振興を図り、放送の発展に寄与すること」を目的として、放送評論家、メディア研究者などが設立したNPO法人放送批評懇談会が主催。NHKを含めた全国すべての放送局が制作した番組を対象に、優秀番組・個人・団体を顕彰します。テレビ部門は上期と下期に選考会が実施され、毎年4月1日から翌年3月31日を審査対象期間と定め、年間の賞が選出されます。

<本件に関するお問い合わせ先>

琉球放送株式会社 広報室 TEL:098-860-2078 E-MAIL: pr@rbc.co.jp